

理事選挙立候補宣伝文

岡本 博行	専門学校 富士リハビリテーション大学校
<p>前任期は財務部・調査部・東部地区・2つのワーキンググループを担当させていただきました。また日本作業療法士協会の「生活行為工夫情報」の事業啓発と運用に関わらせていただきました。部局を担当させていただく中で、役割の重要さ・仲間の大切さを学び、県士会という軸の強化に務めました。大きく変化している現代の情勢やシステムに柔軟に対応ができ、会員の方がより先進的に取り組まれるシステム作りを目指したいと思います。</p>	
秋山 尚也	浜松リハビリテーション病院
<p>この度、理事に立候補させて頂きました秋山尚也と申します。今期は教育部として新人教育、生涯教育制度を担当させて頂きました。会員の皆様の声に耳を傾けながら、活動が制限される中でもWEBなどを活用し、安心して研修が受講できるよう努めていく所存であります。会員の皆様、地域の皆様のために、臨床現場から発信していきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。</p>	
岡庭 隆門	独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター
<p>今期は会長を務めさせて頂き、諸先輩方が築きあげてくださった静岡県士会の繋がりや連帯という伝統のもと、会員にとって身近で頼りになる県士会となれるよう尽力させていただきました。新型コロナ禍により様々な対応を要しましたが、理事一丸となり、柔軟で迅速な対応に努め今期末を迎えられたものと考えております。今後もコロナへの対応は継続しつつ、何よりも会員の皆様が「身近に感じ、かつ頼りになる県士会」としての体制と事業に努めてゆきたいと考え次期も引き続き立候補させていただき決意を新たにいたしております。皆様引き続きご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。</p>	
大塚 昭宏	独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター
<p>今回、静岡県作業療法士会の理事に立候補させていただきました静岡県立こころの医療センターの大塚昭宏です。これまで15年間学術部に所属し、会員の皆さまの学術の研鑽の機会や情報の提供に努めて参りました。これまでの経験をもとに、静岡県作業療法士会の良さを継承し、より発展させられるよう微力ながら、尽力していこうと思ひます。つながりが広く、力強い士会を会員の皆さまと築いていきたいと考えております。</p>	
齊藤 洋平	NTT東日本 伊豆病院
<p>この度、理事に立候補を致しました齊藤洋平です。平成25年度より4期目を務めさせていただいております。現在は、主に福利部および訪問リハビリテーション連絡委員会を担当させていただき、会員の共益に関する事業やPT・ST士会合同での事業に協力させていただいております。今後も静岡県作業療法士会の更なる発展のため、会員の皆様のために微力ながら精一杯務めさせていただきたく存じます。ご支援のほどよろしくお願ひ致します。</p>	
藤田 さより	聖隷クリストファー大学
<p>この度、理事に立候補させて頂きました藤田さよりです。今回2期目の立候補となります。これまで総務部、規約検討委員会等の業務を担当させていただきました。県士会の更なる発展のために引き続き、微力ながら貢献できればと思っております。特に女性理事という立場から、ワークライフバランスの推進など県士会員ひとりひとり誰もが輝き続けられるような体制づくりを目指したいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。</p>	
生田 純一	農協共済中伊豆リハビリテーションセンター
<p>今回、理事に立候補させて頂きました生田純一と申します。現在まで制度対策部、学術部の理事として県士会に携わらせて頂きました。会員数も増え、社会から求められる作業療法士の役割も年々変化しており、様々な分野での活躍が期待されています。県士会員の皆様の臨床力・教育力・研究力のバックアップが出来るように務めていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願ひ致します。</p>	
村岡 健史	常葉大学
<p>2005年より8期16年間、理事として活動して参りました。現在は副会長兼災害対策委員長として災害時緊急連絡システムの整備や3士会（OT・PT・ST）での取り組みについて担当しております。また、昨年度より県士会教育部が主体として運営する臨床実習指導者講習会の責任者として活動しております。公益社団法人としての県士会および会員の皆様のさらなる飛躍に向けて尽力したいと存じます。よろしく申し上げます。</p>	

川口 恭子	公益財団法人復康会 鷹岡病院
この度、立候補致しました川口恭子と申します。令和に変わる年に理事となり、財務部・学術部を担当させて頂きました。引き続き、性別を問わず、一人の職業人、人として会員の皆さまと共に成長し続ける県士会を目指していきたいと思っております。これまでの経験や繋がりを活かし、時代の流れに合わせた県士会の在り方を考えていけるよう、尽力したいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。	
稲葉 洋介	学校法人十全青翔学園 静岡医療科学専門学校
2006年から県士会理事として活動をさせていただいております。現在は教育部生活行為向上マネジメント（以下MTDLP）推進班の担当として、MTDLP推進委員会の皆様と共に、研修会の運営を行っております。作業療法士養成施設指定規則の改正により臨床と教育現場との連携強化やMTDLPの活用が益々重要となってきました。今後も会員の皆様に有益な県士会活動ができるように活動を継続させていただきたく立候補いたしました。	
大石 裕也	医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院
現在3期目を務めています静岡リハビリテーション病院の大石と申します。これまで広報部を担当して一般向け広報誌の発刊やHPのリニューアル、プッシュ通知の導入などを実施してきました。また、今期より中長期ビジョンWGとして、調査に基づきWEB研修や県士会活動への日当支払いの必要性など若い世代の活動促進のための提案をしてきました。今後も皆様のご意見を頂きながら、会員皆様の目線で発言をしていきたいと思えます。	
加納 彰	農協共済中伊豆リハビリテーションセンター
今回、初めて理事選に立候補させていただきました加納彰と申します。現在、私は行政・地域包括支援センター等の皆さんと地域支援事業を中心に活動しています。作業療法士の専門性は医療・介護だけでなく社会全体を支える事ができる素晴らしい技術です。県民の皆様には作業療法の強みが「見える」ように、そして発揮すべき場所で「活用」されるように、繋げる役割ができればと考えます。宜しくお申し上げます。	
伊井 玄	静岡済生会療育センター 令和
この度、3期目の立候補をさせていただきます伊井 玄です。現在は総務部に所属し総会運営委員会、規約検討委員等の活動をさせて頂いております。その他特別支援教育関連の担当もしています。引き続き県士会のスムーズな運営と社会的な信用を担保するために県士会の発展に寄与していきたいと思っております。さらに、静岡県の特別支援教育に関わる作業療法士の活躍場を広げられるように邁進してまいります。	
建木 健	NPO法人 えんしゅう生活支援net
理事に立候補しました建木 健と申します。昨年度まで地域事業部を担当しておりましたが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大に伴ってほぼすべての啓発事業の中止や変更となってしまいました。今後の展望としては「変更から変革の年」として活動をして、新たな啓発活動等につなげていき作業療法士の資質向上と社会貢献に務めて参りたいと思っております。	

理事選挙候補者推薦文

武内 元	株式会社元気広場 通所介護 元気広場城西
長年にわたり、県士会総務部の業務に携わっていただき、令和2年度は総務部部长としてご尽力頂いており、総会運営委員会・選挙管理委員会では、総会・選挙の度に、万全の体制を整えていただく等ご活躍頂いております。その実績・お人柄も踏まえた上で、更に理事としてお力を発揮して頂きたく、公益社団法人 静岡県作業療法士会役員選出規程第12条に基づき、理事会にて承認の上、武内元氏を令和3年度理事候補として推薦させていただきます。	

監事選挙立候補宣伝文

小笠原 誠	浜松市発達医療総合福祉センター
<p>コロナ禍の中にあつて、これまでの事業形態を検討・工夫して進めていく必要があります。”金を残すは下，名を残すは中，人を残すは上”（野村克也語録より）という言葉があります。これが実現できる様に会員の皆様からお預かりした会費を中心にして事業がつつがなく遂行できるよう、予算の執行状況、事業の実施状況、各理事の業務執行状況等を中心に監査し、適正かつスムーズな士会運営が行われることを後方支援させていただきたいと思い、監事として立候補させていただきました。</p>	
秋山 恭延	JA静岡厚生連 遠州病院
<p>今回、本会の役員選挙において、引き続き監事候補として立候補させていただきます。昨年度はコロナ禍の中、事業計画が計画通りに進まず、研修会の開催など苦勞の連続でしたが、本会が「県民の健康に寄与できる団体」であることを県民や行政、他団体に理解して頂くため、監事としてサポートできればと考えています。</p>	
勝又 和也	静岡市立清水病院
<p>静岡県作業療法士会監事に立候補いたします。当県士会が公益社団法人となり、早いもので五年が経過しました。当初は自己研鑽に重きを置いて始まった県士会ですが、すでに社会から必要とされる団体へと変遷を遂げております。さらなる組織としての充実はもちろんですが、その活動が内外にとって健全かつ有益に執り行われるように、監事の職責を果たすことをここに約束いたします。</p>	